



第2580地区 東京豊島東ロータリークラブ

WEEKLY REPORT

創立/1986年2月19日 (会長)稲川 一 (幹事)月井 雅夫
 例会場/〒171-8505 東京都豊島区西池袋1-6-1 ホテルメトロポリタン TEL 03-3980-1111
 事務所/〒171-0021 東京都豊島区西池袋2-29-14-101 TEL 03-3985-7577 FAX 03-3590-6644
 HP <http://www.toshimah-rc.jp> E-mail info@toshimah-rc.jp

第 1255 回例会 2012 年 8 月 29 日

本日のプログラム

卓話 税の話あれこれ

榎田隆治税理士事務所所長 榎田 隆治氏
 紹介者 滝澤 宏会員

次回のプログラム

ガバナー公式訪問
 クラブ協議会 10:30~11:30
 会長、幹事との打ち合せ 11:30~12:30
 例会 12:30~13:30
 特別卓話 国際ロータリー第 2580 地区
 ガバナー 石川 正一氏

🎵 本日のソングリーダー 澤田 博司会員 🎵

先週の例会報告 2012 年 8 月 22 日

会長報告

- 8月29日(水)の例会に、鈴木名誉会員がお越しになる予定でしたが、今回はご辞退されるとの連絡がありました。気候が良くなりましたら、改めてお誘いしたいと思います。
- 8月8日の東京ステーションホテル見学会では、澤田会員に大変お世話になりました。御礼申し上げます。
- 9月5日(水)はガバナー公式訪問となります。当日、クラブ協議会から参加される方は10時30分からとなりますので、お時間の調整をお願いいたします。

■ゲスト

卓話者 元週刊朝日記者 池辺 史生様
 浅原会員ゲスト 浅原 洋子様
 // 伊藤 洋子様
 // 戸張 佳代子様

■ビジター

東京池袋 RC 南山 幸弘様
 東京池袋 RC 加古 博昭様

■出席報告

会 員	出席参加 会員数	出席数	欠席数	出席率	8月1日分 修正出席率
34名	33名	26名	7名	78.79%	87.50%

ニコニコ BOX

池辺史生様/ニコニコ献金致します。
 榎田会員/この夏休み、利根川の梁(やな)料理、鮎を満喫して来ました。草津温泉にも浸って来ました。白根山頂上では18℃でした。もうしばらく居たかったなあ。
 山元会員/南洋の島パラオへ一週間滞在し昨日帰国しました。向うでは最高気温29℃の日中でした。
 今田会員/早退



ご挨拶される池袋 RC 前年度会長南山幸弘様 (左)
 池袋 RC 前年度幹事加古博昭様 (右)

他クラブニュース

ホームページアドレス並びにメールアドレス変更のお知らせ
 東京王子ロータリークラブ
 新ホームページアドレス<http://www.tokyooji-rc.jp/>
 新メールアドレス office@tokyooji-rc.jp

つれあいが倒れたらどうする？

——介護 20 年の経験談

元週刊朝日記者 池辺 史生氏



まず質問をいたします。

- ①自分自身は何歳くらいであの世に行くことになる
とお思いですか。

日本は世界一の長寿国です。東日本大震災で
15000人が不慮の死を遂げたので世界一の座を香港
に譲ったという報道もありましたが、ともかくも、
平均寿命は、女性が86歳、男も80歳になんなんと
しています。

平均余命で言うと、男の場合、いま50歳の人は
後31年、60歳の人は22年、70歳の人は15年くらい
生きることになるようです。

問題は、死ぬまで元気でいられるかどうかです。
みなさんピンピンコロリを望んでいらっしゃるで
しょうが、果たしてそううまくいくかどうか。

- ②介護の体験はありますか。だれを、どのくらいの
期間、どんなふうに介護なさいましたか。

- ③自分が倒れたとき、だれに介護してもらおうつも
りですか。妻、娘、息子、息子の嫁、ヘルパーさん、
老人ホームの介護スタッフ……。

- ④自分より先に奥さんが倒れたとき、どうしますか。
自分が介護を試みよう、多分やれるはずだとお
考えの方は？

みなさん、男子厨房に入るべからず、などと言わ
れて育った世代ですね。おれはお茶を淹れたことも
ないなんて威張っている方、いないでしょうね。み
なさん、どんな家事をなさっていますか。掃除、洗
濯、料理など、どの程度できますか。

私の肩書は元週刊朝日記者となっていますが、い
ま現在、正確に言うなら「主夫」です。2005年の2
月に妻が脳出血で倒れ、左半身が不自由になって以
来7年余り、料理、洗濯、買い物などの家事は私が
引き受けているからです。

妻が倒れる1年半ほど前に、私自身も直腸がんの
手術を受けてストーマの身になっていますから、体
調は万全とは言えません。でも、東目白自治会の会
長、いわゆる町会長というボランティア仕事のほか、
取材・執筆の仕事もしています。そうそう、週に1
度はテニス、月に2度くらいは草野球で息抜きをし
ていますが、毎週月曜には104歳になる遠縁のおば
あさんを老人ホームに訪ねて、介護というか、話し
相手というか、そういうこともしています。我なが
らよくやっているなと思います。酒は毎晩ですから、
医者には叱られています。どの時点かで、私もプツ
ンと切れてしまうかもしれませんが、まあ、そのと
きはそのときです。

ともかくも、妻が倒れたからといって、私がそれ
ほどジタバタせずにやってこられたのは、私の両親
と妻の両親、合わせて4人の介護に20年くらい関
わってきた体験があったからだと思います。

以上が前書き、これから本論に入ります。私の父
親は80近い年になってからアルツハイマー型のぼ
け老人になりました。母はパーキンソン病で歩けな
くなりました。私たち6人の子どもとその配偶者た
ちは、父が92歳で他界するまで介護に七転八倒し
ました。その介護記録を週刊朝日に連載しましたと
ころ、大変な反響がありました。日ごろ「世のため
人のためにならない記事ばかりを書いている」など
と威張っていたのですが、この記事ばかりはずいぶ
ん人さまのお役に立ったようなので、時間の許す限
り、具体的にお話いたします。

介護というのは、いつ終わるのか分からないのが
辛いのですが、やってみれば、いろいろな発見があ
り、おもしろくもあります。ことに料理、こんなお
もしろいことを女房だけにやらせておくことはない
と思います。いまからでも遅くはありません。今日
から始めてください。

結論めいたこととして、「親の介護には男もかか
われ、女だけに任せるな」と言いたく思います。

仮に奥さんに先に倒れられたら、楽しく介護して
あげましょう。

